



社協だより

第170号

平成29年2月1日発行

発行者 ふれあいネットワーク
社会福祉法人
三沢市社会福祉協議会

〒033-0011 三沢市幸町三丁目11-5
TEL 0176-53-3422 FAX 0176-52-4545
<http://misawa-shakyo.jp/>



三沢商業高等学校
2年1組様
12月16日 車いす1台
三商祭で
行った、
バザーの
益金から
車いすを
寄付。



[2年1組のプレート]

● 物品寄附 ●

します。

災害義援金をご紹介します。

11月26日から1月23日

までに頂いたご寄附と

ありがとうございます

● 寄附金 ●

三沢地区自動車整備士協会

(会長 鈴木 剛昭) 様

12月5日 9,597円

バーベキューパーティー
で集まった募金

青森県自動車整備三沢協議会

(会長 福田 和男) 様

12月5日 30,000円

点検ふれあいフェスティ
バルの益金の一部から

航空自衛隊三沢基地OB会

(会長 森 三郎) 様 及び

航空自衛隊退職者団体つば

さ会 三沢つばさ会
(会長 倉持 晶郎) 様



12月14日 64,000円
合同忘年会での歳末チャリ
ティービンゴの益金から

三沢みちのく会

(会長 佐々木 清) 様

12月14日 100,000円

親睦会費からの寄附



いこいの家

(代表 昆 ヤス) 様

12月19日 15,000円

パッチワーククラブの作
品の売上の一部から

黒田 雅行 様

12月19日 10,000円

三沢キリスト教会 様

12月20日 60,000円

古間木保育所と合同で開
催したビックリバザーの
益金より

三沢地域

子育て支援センター
様



三沢キリスト伝道協力会

(代表 福田 敦) 様

12月21日 30,000円

第29回三沢市民クリス
マスの参加者から



12月21日 5,500円
利用子育てサークルの
メンバーより

ヨシダダンススタジオ

(代表 吉田 勝美) 様

12月27日 50,000円

クリスマスダンスパー

ティーの益金から

岡三沢青年部

(代表 木村 博) 様

1月4日 12,803円

元朝参りの出店での収益
金から

田中 テツ 様

1月5日 10,000円

竹内 英治 様

1月6日 2,000円

伊藤 恵美子 様

1月6日 2,000円

匿名 様

1月10日 100,000円

中央院梅花講

(代表 川畑 好弘) 様

1月10日 30,000円

寒修行の喜捨として

大和講大津支部

(代表 北向 セイ子) 様

1月19日 20,000円

寒修行の喜捨として

株式会社 エーアンドエフ

パチンコ三沢 様

1月23日 7,327円
店舗カウンターに設置し
ている募金箱から

福田 妙子 様

1月24日 300,000円



● 災害義援金 ●

熊本地震義援金へ

堀口中学校 様

1月12日 33,472円

朝の会等で奉仕委員会が
生徒に呼びかけた募金

○熊本地震 災害義援金の
受付期間(共同募金は平成
29年3月31日までです。

○社会福祉協議会、共同募

金会への寄付は所得税法及

び法人税法の優遇措置が認
められています。

保育士就職準備金貸付のご案内

保育士資格を持ちながら保育士として働いていない方へ就職準備金(最大20万円)をお貸しします。
青森県内の保育所等において **2年間**継続して働いた場合、返還が**全額免除**されます。

青森県内の保育所等を離職後1年以上経過している方、又勤務経験はないが、新たに保育所等に勤務する方など、一定の要件を満たす方が貸付対象となります。

【貸付金の使いみちの例】

- ・就職に伴う転居費用、研修費用、勤務先で使用する被服費等

＜お問い合わせ先＞

社会福祉 法人 青森県社会福祉協議会

生活支援課 ☎017-723-1469

法律相談日のお知らせ

社協では、弁護士による無料法律相談を行っています。
相談時間は午後1時からで一人につき30分、事前の
予約が必要です。

相談日 2月14日(火) 3月14日(火)

困りごと相談・予約は 52-3270

三沢市社会福祉協議会 ふれあい相談所まで

児童館の利用申し込みについて

- 受付期間 2月13日(月)～17日(金)
(初日のみ8時半～18時、以降は10時～18時)
- 受付場所 各児童館・児童センター
- 利用料 月額3,000円
- 申請書 各児童館にて2月1日(水)から配布します。

川柳の時間

福祉川柳

初夢は福祉充実日本一

出来ることだけでいいですボランティア

時事川柳

年明けて元SMA Pになる5人

貰うモノだけは貰った少女像

この人が核のボタンを持つ怖さ

事務局OB 松田

皆様からのご投稿をお待ちしています。

生活福祉資金「教育支援資金」の

申込みを受け付けます

社会福祉協議会では、低所得世帯などに対して、資金の貸付けにより、その世帯の自立更生を図ることを目的とした「生活福祉資金貸付制度」を取り扱っております。

受験シーズンを迎え、2月1日より教育支援資金（教育支援費・就学支度費）の借入申込の受付を開始いたしましたのでお知らせします。

● 借り入れケースの例

○ 授業料の不足分

○ 修学中の、家賃・寮費・通学定期代が足りない

○ 入学金・制服や教科書等の購入費用が足りない

● 申し込みに必要な書類

① 借入申込書

② 世帯全員の住民票

③ 所得を証明する書類（世帯の中で収入がある方全員）

④ 使途明細書とその根拠となるもの（学校のパンフレットや見積書等）

⑤ 合格通知書又は入学許可書、在学中の場合は在学証明書

⑥ その他、本会が必要とする書類

⑦ 地区の民生委員意見書

● 貸付対象世帯

資金の貸付及び必要な支援を受けることにより、自立自活できると認められる世帯であり、世帯所得が一定以下で他からの資金融資を受けることが困難な世帯。

※他制度優先

あらかじめ教育ローン等への貸付相談、各種奨学金や免除制度への申請が必要となります。それらの貸付等を受けられる世帯は対象外となりますので、ご注意ください。

あらかじめ教育ローン等への貸付相談、各種奨学金や免除制度への申請が必要となります。それらの貸付等を受けられる世帯は対象外となりますので、ご注意ください。

- ・ 金融機関の教育ローン
- ・ 学校独自の奨学金制度
- ・ 国の教育ローン
- ・ 青森県育英奨学会
- ・ 日本学生支援機構奨学金
- ・ 母子寡婦福祉資金 等

● 申込者

他制度の利用が難しい世帯に対して、子ども等を借入申込者とし、保護者を連帯借入申込者とします。原則、連帯保証人は不要です。



* 5人世帯の福祉さん宅の例 *

（金額は月収です）

福祉太郎（世帯主）	会社員	210,000 円
花子（妻）	パート勤務	60,000 円
一郎（長男）	中3・児童手当	10,000 円
次郎（次男）	小6・児童手当	10,000 円
ハナ（太郎の母）	無職・年金	60,000 円
世帯収入合計		350,000 円

■ この世帯の場合

月収合計 35 万円

世帯員数 5 人

35 万 ÷ 5 人 = 7 万円

→ 1 人当たりの月収が 7 万円となるため、福祉さん宅はこの制度の貸付対象となります。

※但し、ローン等の借入金の返済により生活が困窮している場合は対象となりませんのでご注意ください。

「生活福祉資金貸付制度」の紹介

● 資金の種類

・ 総合支援資金

失業者等に対し、継続的な就労支援や家計指導等と資金の貸付を行います。

・ 福祉資金

民生委員による必要な相談援助と資金の貸付を行います。

・ 教育支援資金（上記参照）

・ 不動産担保型生活資金

不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金

● 対象世帯

低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯

◎ いずれも、制度の利用により世帯の自立更生が見込まれる方が対象となります。資金の種類によって、対象者や貸付条件、限度額等が異なりますので、まずは、ご相談ください。

「社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金で作成されています。



ボラ連だより

その12



29年2月1日

青森県ボランティア

フェスティバル

12月3日(土)、県民福祉プラザで「平成28年度青森県ボランティアフェスティバル」が開催されました。

午前中は五所川原市在住の桑田ミサオ氏を講師に、「私の財産」技で広がる活動、つながる仲間」というテーマで講演が行われました。

現在89歳の桑田氏は、母から受け継いだ笹餅づくりが評判となり75歳で起業。「立派なことは話せないけれど、私の89年生きてきた道をお話しします」と、母との思い出、人とのつながり、東日本大震災の時の千個の笹餅プロジェクトのお話などを穏やかな語り口で話され、最後は得意の民謡を披露。会場からは大きな拍手が沸き起こりました。



午後は会員団体によるステージでの活動発表で歌や踊りが披露され、その中でお助けマンクラブ(三沢市)の活動発表も行われました。



障害の有無に関わらず、共に生きる社会をめざした様々な取り組みに、他の地域からの参加者もとても興味深く聞き入っていました。

広げ!

ボランティアのわ

交流会

1月13日(金)、三沢市総合社会福祉センターにおいて、ボランティアネットワーク事業「広げボランティアのわ交流会」が開催されました。ボランティア同士の交流や情報交換を行い、ネットワークを作ることを目的とした事業で、上十三地区では三沢市を会場に、約70名が集いました。今回はボランティア活動をしている自分自身も元気で生き生きと活動すること、をテーマに、講演と体操を

行いました。

●講演「世代をつなぐボランティアの力」



おいらせ農協やさい推進委員会ごぼう部会長の織笠光子氏を講師に、農業活動や部会長としての取り組み、ごぼうの効能やPR活動のエピソードをお話していただきました。

笑顔ではつらつと、精力的に全国を駆け回る織笠氏の活動の様子。普段あまりなじみのない地域産業や農業活動に関するお話は大変興味深く、同時に、分野は違っても人と関わる姿勢や地域を思う気持ちは同じだということを再認識し、実り多い研修会になりました。

●「三沢よいとこ体操」

三沢保健協力委員会のご協力をいただいて、参加者全員で体操を行いました。子どもから高齢者まですべての三沢市民が楽しく体を動かせるようにと、「三沢よいとこ音頭」にのせて作られたご当地体操。皆さん息を切らしたり汗をかいたりしながら、楽しく体を動かすことができました。



▼三沢市ボランティア連絡協議会に関するご相談・お問い合わせは、事務局：三沢市社会福祉協議会(53-3422)までどうぞ。